

---

## 「出血性脳卒中症例に対する人參養栄湯の効果に関する研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院において出血性脳卒中症例に対する人參養栄湯の効果に関する研究を行うこととなりました。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRBの承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2023年1月1日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、出血性脳卒中と診断され、かつ経口摂取が可能である患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

出血性脳卒中は重篤な病態であり、発症初期には軽症でも、年齢やリハビリの経過、合併症などのために転帰不良となる症例が散見されます。それらの症例は早期から食欲不振を来すため、食欲増進を目的に漢方の一つである人參養栄湯を使用することがあります。現時点では出血性脳卒中患者の食欲不振に対する研究は非常に少なく、人參養栄湯の効果に関する報告は世界的に存在しません。そこで本研究では、出血性脳卒中患者において、人參養栄湯の食欲不振に対する影響とその効果を検討することを目的といたしました。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施が許可された1ヶ月後から

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

検査データ、診療記録等を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である 栢原智道 が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

出血性脳卒中と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

|            |     |       |
|------------|-----|-------|
| 脳卒中外科      | 講師  | 栢原 智道 |
| 脳卒中外科      | 教授  | 栗田 浩樹 |
| 脳血管内治療科    | 教授  | 神山 信也 |
| 脳血管内治療科    | 准教授 | 芳村 雅隆 |
| 脳血管内治療科    | 講師  | 松本 崇  |
| 脳卒中外科      | 講師  | 寺西 亮雄 |
| 脳卒中外科      | 講師  | 武 裕士郎 |
| 薬剤部        | 一般  | 新井 大夢 |
| 薬剤部        | 一般  | 伊藤 楓  |
| 薬剤部        | 一般  | 小鷹 史哉 |
| 薬剤部        | 一般  | 田邊 侑大 |
| 薬剤部        | 一般  | 大島 萌  |
| 薬剤部        | 一般  | 松本 浩宜 |
| 薬剤部        | 一般  | 本田 晴香 |
| 薬剤部        | 主任  | 清水 敦子 |
| 栄養部        | 一般  | 吉田 竜也 |
| リハビリテーション部 | 一般  | 関根 大輔 |

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原 智道

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：出血性脳卒中症例に対する人参養栄湯の効果に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原 智道